

【今回のテーマ】

花いっぱいプロジェクトへのたくさんの参加ありがとうございました。夏の花を無事に植えることができました。大切に育てて美しい学校に、またSDGsの目標達成に貢献しましょう。いよいよ始まる'届けよう服のチカラ'プロジェクトに向けた取り組み内容を伝えていきたいと思います。

## 花いっぱいプロジェクト



### 参加者54名

参加してくれたみなさん、本当にありがとうございました！たくさん集まってくれたおかげで手早く花を植えることができました。パラパラと雨の降る中でしたが、一生懸命取り組んでくれて、本当に助かりました。みんなで大切に育てていきましょう。

### 世界のおもしろSDGs

#### 値札もレジもない、すべて無料のスーパー

賞味期限切れ前なのに処分されてしまう食品をスーパーなどから譲り受けて、すべて無料で提供しているのが、オーストラリアの『オズ・ハーベスト・マーケット』です。食品ロスに対する意識を高め、生活に困っている人を支援するために始めたところみです。



## “届けよう、服のチカラ”プロジェクト

ユニクロとわたしたち北中生が協力して、着なくなった服を世界中の難民の子どもたちに届けるプロジェクトです

## 活動の流れ

写真:ユニクロHPより

### 1. 服のチカラについて学ぶ



ユニクロ・ジーユーの社員の方が学校に来て、講師となって出張授業をさせていただきます。

SDGsの概要やリサイクルの意義、服にはどのようなチカラがあるのか、回収した服の活用法などを学びます。

### 2. 校内・地域へ呼びかける



いつ、どこで、だれに、どうやって呼びかけるか。アイデアを出し、協力を呼びかけます。役割分担を決め、ポスターや回収ボックスを作成します。校内放送や全校集会で学校内に呼びかけたり、近隣の小学校や幼稚園に声をかけたり、工夫を凝らして、衣服の回収への協力を募ります。

### 3. 服を回収し、倉庫へ発送する



子ども服をいざ回収！その後、段ボールにつめて指定の倉庫に発送します。服は倉庫で選別や梱包をされ、難民キャンプなどへ届けられます。

### 4. 服の寄贈レポートが届く



難民キャンプに寄贈した様子をまとめたフォトレポートが学校に届きます。

次号にて、生徒会のみならず一緒に活動してくれるプロジェクトメンバーを募集します。メンバーの活動内容は、夏休みに回収ボックスやポスター、ちらし、回収場所のデコレーショングッズなどの制作、2学期には回収活動、10月頃には発送に向けての仕分けや梱包作業などがあります。役割分担をしながらたくさんメンバーで取り組み、プロジェクトを成功させたいと思っています。詳しくは未来新聞18号でお知らせします。